
● はじめに ●

「海外旅行でせめて英語くらい話せるようになりたい」。そのような人向けの旅行英語の本は全国の書店にたくさん並んでいます。でも、何冊買ってもなかなか話せるようにはならない…という人も多いのが現実ではないでしょうか。また、実際には使わないようなフレーズもたくさんあったりして、結局覚え切れなかったなんていうこともあるかもしれません。

そこで、本書では、少しでも長く続けられ、できるだけ挫折感を味わわないですむように、そして実際の旅行の「現場」で本当に使える英語が身につくように、次の3つの基本方針で内容を構成しています。

- ①旅行で本当に必要、かつ最小限の100フレーズを厳選しています。
- ②日本語英語の発音でもOKというスタンスを取り、100フレーズとその他のフレーズ、単語にはカタカナで読み方を書いています。
- ③100個のフレーズには、100個のイラスト(一コマ漫画)がついています。

また、サブテキストとして、英会話でのコミュニケーションルールやコツと、学んだフレーズを楽しみながら復習できるワークを掲載したワークブックも用意しています。ぜひ、取り組んでみてください。

3ヵ月間、勉強をやりぬいた後に見える景色は、きっと素晴らしいものだと思います。肩の力を抜いて、がんばりましょう。

※なお、本書で想定している海外は、欧米を中心に、オーストラリアや東南アジアなど、主な観光地で英語を使う国をメインにしています。

大門久美子

CONTENTS

簡単！やさしい！100フレーズ旅行英会話

はじめに	003
通信講座の進め方	008
本書の特徴と使い方	010
基本の3フレーズ	012

Part 1 挨拶に関するフレーズ	013
フレーズ 1 初対面の挨拶をスムーズにしたい	014
フレーズ 2 気軽に相手の名前を聞きたい	016
フレーズ 3 別れ際の挨拶を知りたい	018
フレーズ 4 日本から来たと言いたい	020
フレーズ 5 また会いたいという気持ちを伝えたい	022
フレーズ 6 シンプルに謝りたい	024
確認テスト (1)	026

Part 2 感情表現に関するフレーズ	027
フレーズ 7 相手の持ち物をほめたい	028
フレーズ 8 驚いた気持ちを表現したい	030
フレーズ 9 「楽しかった！」とシンプルに言いたい	032
フレーズ 10 感動した気持ちを表現したい	034
フレーズ 11 がっかりした気持ちを伝えたい	036
フレーズ 12 「気に入った」とシンプルに伝えたい	038
フレーズ 13 話を聞いて興味を持ったことを伝えたい	040
フレーズ 14 日本語で使うように「すごい！」と言いたい	042
フレーズ 15 残念な気持ちを表現したい	044
フレーズ 16 いいとも悪いとも言えないことを伝えたい	046
確認テスト (2)	048

Part 3 意思を伝えるフレーズ	049
フレーズ 17 Coffee. をお願いしたい	050
フレーズ 18 きちんと断りたい	052

フレーズ 19	取り分け用の小皿をリクエストしたい	054
フレーズ 20	街中でトイレを借りたい	056
フレーズ 21	ほしいものが何かを丁寧に伝えたい	058
フレーズ 22	レストランの予約をしたい	060
フレーズ 23	写真を撮ってほしいと頼みたい	062
フレーズ 24	代わりに予約してほしいと頼みたい	064
フレーズ 25	相手の言うことに賛成したい	066
フレーズ 26	相手の言うことに反論したい	068
フレーズ 27	聞き取れなかったので聞き返したい	070
フレーズ 28	ほしいものを注文したい	072
確認テスト (3)		074

Part 4 食に関するフレーズ

フレーズ 29	窓際のテーブルをリクエストしたい	076
フレーズ 30	メニューを見せてほしいと頼みたい	078
フレーズ 31	店のオススメ料理を聞きたい	080
フレーズ 32	食材が何かを知りたい	082
フレーズ 33	丁寧にオーダーしたい	084
フレーズ 34	注文が決まっていないことを伝えたい	086
フレーズ 35	おかわりしたいと伝えたい	088
フレーズ 36	お箸をリクエストしたい	090
フレーズ 37	汚れたお皿を取り替えてほしい	092
フレーズ 38	デザートのお勧めをスマートに断りたい	094
フレーズ 39	おいしかったとストレートに伝えたい	096
フレーズ 40	店内で食べると伝えたい	098
フレーズ 41	スコッチの水割りがほしいと言いたい	100
フレーズ 42	支払いをスムーズに済ませたい	102
確認テスト (4)		104

Part 5 お金に関するフレーズ

フレーズ 43	両替をスムーズにしたい	106
フレーズ 44	値段を聞きたい	108
フレーズ 45	高すぎると伝えたい	110
フレーズ 46	まけてほしいと伝えたい	112
フレーズ 47	会計の場所を知りたい	114

フレーズ 48	明細書について質問したい	116
フレーズ 49	クレジットカードが使えるかどうか聞きたい	118
フレーズ 50	日本円が使えるかどうか聞きたい	120
フレーズ 51	領収書がほしいと言いたい	122
フレーズ 52	ホテルで使ったお金を部屋につけたい	124
確認テスト (5)		126

Part 6 交通に関するフレーズ

フレーズ 53	市内地図を手に入れたい	128
フレーズ 54	ショッピングセンターがどこにあるか知りたい	130
フレーズ 55	徒歩で行ける距離かどうか知りたい	132
フレーズ 56	タクシーに行き先を簡潔に告げたい	134
フレーズ 57	住所を見せながら行き先を伝えたい	136
フレーズ 58	目的地に行くバスを知りたい	138
フレーズ 59	一番近い地下鉄の駅を知りたい	140
フレーズ 60	行きたい駅に停まるかどうか知りたい	142
フレーズ 61	各停かどうか聞きたい	144
フレーズ 62	車掌に待ってくださいと言いたい	146
確認テスト (6)		148

Part 7 買い物に関するフレーズ

フレーズ 63	探しているものを伝えたい	150
フレーズ 64	試着していいか聞きたい	152
フレーズ 65	サイズ違いがほしい	154
フレーズ 66	ウィンドウショッピングだと伝えたい	156
フレーズ 67	探しているものではないと言いたい	158
フレーズ 68	ピンとこないと伝えたい	160
フレーズ 69	別のものを見せてほしいと伝えたい	162
フレーズ 70	考えさせてほしいと伝えたい	164
フレーズ 71	今回はやめておくと伝えたい	166
フレーズ 72	オススメのお土産を知りたい	168
フレーズ 73	セール商品をチェックしたい	170
フレーズ 74	同じものをまとめて買うことを伝えたい	172
フレーズ 75	プレゼント用の包装を頼みたい	174
フレーズ 76	免税関係の書類がほしいと伝えたい	176

確認テスト (7)	178
-----------	-----

Part 8 手続きに関するフレーズ

フレーズ 77 通路側の席をリクエストしたい	180
フレーズ 78 ホテルでチェックインしたい	182
フレーズ 79 予約をしていると伝えたい	184
フレーズ 80 電話で予約をしたい	186
フレーズ 81 服装(ドレスコード)のことを確認したい	188
フレーズ 82 現地のオプションツアーに申し込みたい	190
フレーズ 83 ツアーでホテルまでの迎えを頼みたい	192
フレーズ 84 ツアーに戻る時間を確認したい	194
フレーズ 85 テーマパークや駅などでチケットを買いたい	196
確認テスト (8)	198

Part 9 エチケットやトラブルに対応するフレーズ

フレーズ 86 シートを倒したい	200
フレーズ 87 隣の席の人の前を通りたい	202
フレーズ 88 空席かどうか知りたい	204
フレーズ 89 大丈夫かどうか、相手の様子を聞きたい	206
フレーズ 90 荷物が出てこないと言いたい	208
フレーズ 91 もう一度調べてほしいとリクエストしたい	210
フレーズ 92 トイレが流れないと伝えたい	212
フレーズ 93 部屋に鍵を忘れたと言いたい	214
フレーズ 94 明細書の合計がおかしいと伝えたい	216
フレーズ 95 別のものに交換したい	218
フレーズ 96 忘れ物が届いていないか聞きたい	220
フレーズ 97 道に迷ったので、現在地を確認したい	222
フレーズ 98 メーターをオンにしてもらうように伝えたい	224
フレーズ 99 日本語が話せるスタッフを呼んでほしい	226
フレーズ 100 具合が悪いことを伝えたい	228
確認テスト (9)	230

おわりに..... 231

通信講座の進め方

【本講座のテキストと使い方】

①メインテキスト(本書)：1冊

Part 1～Part 9までであり、目的やシーン別にメインの100フレーズとその他のフレーズや単語などを学びます。また、ネイティブの声が録音された副教材のCDを聞いて、発音を確認しましょう。

②コミュニケーション&ワークブック：1冊

各章の前半は英会話におけるコミュニケーションのコツやルールについて解説してあります。英語によるコミュニケーションのルールやマナー、よりスムーズなやりとりをするためのヒントを学んでください。後半のワーク部分では、メインテキストの100フレーズを復習するための演習問題に取り組みましょう。

③添削課題：全3回

1カ月分のメインテキスト、コミュニケーション&ワークブックの学習が終わったら、各単元の添削課題に取り組みましょう。

④音声CD：1枚

まず、日本語が流れます。次のポーズの間に、あてはまる英語のフレーズを声に出してみましょう。その後、正しい英語のフレーズが流れてきます。次に会話のやりとり(日本語→英語)が流れてきます。会話の部分では、実際のやりとりをイメージしながら英語のナレーションに自分の声を重ねて、アクセントや抑揚なども真似て、感情表現豊かに伝えられるように練習してみましょう。

※CDの性質上、トラックは99までしか設定できないため、最後のフレーズ100はフレーズ99とまとめて収録してあります。ご了承ください。

⑤フレーズノート：1冊

目的別に学習したフレーズを自分のためにアレンジするノートです。旅行で使いたいと思ったフレーズをシーン別にまとめておきましょう。実際の旅行には必要な時にサッと取り出せるように、このノートを携帯しておきましょう。

【スケジュールのめやす】

●1ヵ月目

第1週	第2週	第3週	第4週
①メインテキスト (Part 1)	①メインテキスト (Part 2)	①メインテキスト (Part 3)	第一単元 添削課題
②コミュニケーション &ワークブック (第1章)	②コミュニケーション &ワークブック (第1章)	②コミュニケーション &ワークブック (第1章)	

●2ヵ月目

第1週	第2週	第3週	第4週
①メインテキスト (Part 4)	①メインテキスト (Part 5)	①メインテキスト (Part 6)	第二単元 添削課題
②コミュニケーション &ワークブック (第2章)	②コミュニケーション &ワークブック (第2章)	②コミュニケーション &ワークブック (第2章)	

●3ヵ月目

第1週	第2週	第3週	第4週
①メインテキスト (Part 7)	①メインテキスト (Part 8)	①メインテキスト (Part 9)	第三単元 添削課題
②コミュニケーション &ワークブック (第3章)	②コミュニケーション &ワークブック (第3章)	②コミュニケーション &ワークブック (第3章)	

【取り組むときのポイント】

- 1) 取り組む時間を決めるといいでしょう。たとえば、毎日の朝食前の30分、就寝前の30分、あるいは、週末にまとめて就寝前に2時間など。自分のライフスタイルに合わせて、ムリのないように取り入れていくことが継続のポイントです。
- 2) 第4週の添削課題ですが、まず最初はメインテキストを見ないで取り組みましょう。その後、わからないところはテキストに戻って確認します。また、戻ってきた添削課題で自分が間違えたところはしっかり確認し、復習しておくことで記憶に残りやすくなります。
- 3) わからない単語が出てきたら、積極的に辞書を引きましょう。また、読み方にも着目して、どんどん実際に声に出して読んでみましょう。

本書の特徴と使い方

本書は、フレーズの覚えやすさ、解説のわかりやすさを考えて次のような内容で構成しています。自分なりの工夫や使い方も加えながら、本書を繰り返し学習していきましょう。

英語を話すシチュエーションを書いています。どんな目的で、どのような時に使えるかがひと目でわかります。自分の目的に合わせて活用しましょう。

<フレーズ>

本書で覚えたい100個のメインフレーズとその日本語訳です。まず最低限、このフレーズを覚えましょう。

<インデックス>

ページを早引きするときに役立ててください。

<取り組んだ日>

実際にこのページの学習に取り組んだ月日を書いておきましょう。後でフレーズを思い出すときのきっかけに、また学習スケジュールも管理することができます。

<イラスト>

メインフレーズとその会話例をイラストで楽しく表現しています。イメージ(絵や映像)で覚えると、記憶に残りやすくなります。また、英語の読み方をカタカナで書いていますので、ぜひ声に出して読んでみましょう。

別れ際の挨拶を知りたい
[ツアーなどあらゆるシーン]

フレーズ
3 Goodbye.
Have a nice trip!
さよなら。素敵な旅を!

声に出して読んでみよう!

track 3

Goodbye. Have a nice trip!
グッバイ ハワァ ナイス トゥリップ

You, too!
ユー トゥー

1 挨拶に関するフレーズ

● 取り組んだ日

月 日

018

<会話例の訳と解説>

一般的によくある会話例を設定し、フレーズや単語に関する解説をしています。文法的な解説、単語の言い替えやネイティブが使うポイントなどを書いているので、フレーズの理解に役立ててください。また、全体をとおして、英語にカタカナで読み方をつけ、かつ、疑問文の文末には、音の上げ下げを矢印で表しています（語尾を下げる矢印のところでは上がって聞こえる場合もありますが、日常会話のシーンではよくあることです）。

会話例の訳と解説

さよなら。素敵な旅を！
Goodbye. Have a nice trip!
グッバイ ハヴァ ナイス トゥリップ

あなたもね！
You, too!
ユー トゥー

別れの挨拶として Goodbye. だけでも OK ですが、Have a nice trip. と加えることで、相手への親しみを込めることができます。Have a nice day. 「素敵な一日を。」と言っても大丈夫です。返事の You, too. も短いので、「あなたもね。」といった返事をしたいあらゆるシーンで使ってみましょう。

その他のフレーズ

次のフレーズも、Goodbye. の後に加えて言うことができます。単独使うこともできます。

旅行を楽しんでね。 Enjoy your trip. エンジョイ ユア トゥリップ
気をつけてね！（その他、「元気だね。」「いってらっしゃい。」などの意味でも使われることがある。） Take care! テイケアー
がんばってね！ Good luck! グッドラック
また、明日（明日も会うことがわかっている場合）。 See you tomorrow. シーユー トゥモロウ
とても楽しかったです。 I had a good time. アイ ハッド アー グッド タイム

*（ドゥ）は、読まない方が、よりネイティブに近い発音に聞こえます。

019

【カタカナの読み方 について】

日本語にない音をカタカナにしているところや英語の発音に慣れていない人のために工夫して作った音もあります。予め、ご了承ください。

<その他のフレーズ>

+αで覚えておくと役立つフレーズをピックアップしています。また、「ワンポイント」「ミニコラム」「関連ボキャブラリー」や、海外旅行のお役立ち情報もありますので、ぜひ覚えておきましょう。

< track >

音声収録されているトラック番号です。

【CD（音声）の使い方】

ネイティブがナチュラルスピードで読んだものを収録しています。まずは、イラストを見ながら音声を聞いてください。慣れてきたら、イラストを思い出しながら、テキストを見ないで何度も繰り返してみましょう。
・ナレーター エリック・ケルソー、ピアンカ・アレン、夏目ふみよ
・制作 巧芸創作

基本の3フレーズ

メインフレーズ 100 を学習する前に、
次の基本のフレーズをおさらいしておきましょう。

基本

1

Hello! / Hi! こんにちは。

ハロウ

ハイ

ホテルのフロントや、レストランの店員、オプションツアーで一緒になった現地の人に対して、Hello! と声をかけましょう。特に欧米人は、日本人以上に気軽に挨拶をします。コツは、恥ずかしがらずに元気よく！です。相手から言われたら、同じように返します。挨拶言葉として、旅行中、一番たくさん使うフレーズになるでしょう。ネイティブは、Hi! も使います。どちらも、時間を問わず使えますが、Good morning. 「おはよう。」、Good afternoon. 「こんにちは。」、Good evening. 「こんばんは。」を時間帯に応じて使い分けるといいでしょう。

基本

2

Excuse me. すみませんが。

イクスキューズミー

これも旅行中にたくさん使うフレーズのひとつです。レストランやショップで店員を呼ぶとき、街の中で見知らぬ人に声をかけるときなどに、日本語の「すみませんが。」と同じ意味で使います。呼ばれた人は、Yes? 「何ですか?」と語尾を上げて答えてくれる、あるいは、店員なら、Just a moment. I'll be right there. 「少々お待ちください。今すぐまいります。」などと答えてくれるはず。一方、人にちょっと肩が触れて「すみません。」というときにも、Excuse me. を使います。合わせて、覚えておきましょう。

基本

3

Thank you. / Thanks. ありがとう。

サンキュー

サンクス

誰かに何かをしてもらったときだけではなく、ホテルやレストランなどでサービスを受けた場合も、声に出して言いましょう。日本語の「ありがとう」だけではなく、「どうも」という意味でも、Thank you. を使います。惜しみなく声に出して使いましょう。ネイティブは、Thanks. もよく使います。心からのお礼を言いたい場合は、Thank you very much. や、I appreciate it. を使うといいでしょう。appreciate は「感謝する」という意味です。また、相手にお礼を言われたら、You're welcome. や、No problem. などと、答えましょう。

Part 1

挨拶に関するフレーズ

挨拶はコミュニケーションの基本であり、
コミュニケーションのきっかけにもなります。
旅のシーンに応じてスムーズにできると、
旅行英語を話すのも楽しくなるはずです。
ここでは、6つのフレーズを学習します。



- フレーズ 1 初対面の挨拶をスムーズにしたい
- フレーズ 2 気軽に相手の名前を聞きたい
- フレーズ 3 別れ際の挨拶を知りたい
- フレーズ 4 日本から来たと言いたい
- フレーズ 5 また会いたいという気持ちを伝えたい
- フレーズ 6 シンプルに謝りたい

フレーズ

1

Nice to meet you!

はじめまして！



声に出して読んでみよう！



track 1



挨拶に関するフレーズ

● 取り組んだ日

月

日